※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　新地理総合　（帝国書院）						
副教材等	図説地理資料　世界の諸地域 NOW２０２３　（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・知識を学ぶと同時に事象の原因や課題と解決策について考えることを大事にします。また、自分の考えを発表やレポートなどの方法で、積極的に表現活動を行いましょう。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことなどをノートにメモとして記入しましょう。

２ 学習の到達目標

a. 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
b. 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，多面的・多角的に考察したり，課題を発見し、課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
c. 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しており、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察しており、課題を発見し、課題の解決に向けて構想し、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	地理に関わる諸事象について、その課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚を持ち、我が国の国土に対する愛情を持ち、さらに世界の諸地域の多様な生活文化を尊重している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	①地球上の位置と時差 ②地図の役割と種類	a：日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 a：現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b：地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした。	定期考査・ワークシート	定期考査・ワークシート・レポート	提出ノート・発表
	結び付きを深める現代世界	①国家と領域 ②グローバル化する世界	a：現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 b：現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした。	定期考査・ワークシート	定期考査・ワークシート・レポート	提出ノート・発表
	生活文化の多様性と国際理解	①世界の地形と人々の生活 ②世界の気候と人々の生活 ③世界の言語･宗教と人々の生活	a：世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 a：世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b：世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした。	定期考査・ワークシート	定期考査・レポート	提出ノート・発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	生活文化の多様性と国際理解	①歴史的背景と人々の生活 ②世界の産業と人々の生活	a：世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 a：世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b：世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした。	定期考査・ワークシート	定期考査・レポート	提出ノート・発表
	地球的課題と国際協力	①複雑に絡み合う地球的課題 ②地球環境問題 ③資源･エネルギー問題 ④人口問題 ⑤食料問題 ⑥都市・居住問題	a：世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 a：世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b：世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした。	定期考査・ワークシート	定期考査・レポート	提出ノート・発表

※令和４年度以降入学生用

３学期	自然環境と防災	①日本の自然環境 ②地震･津波と防災 ③火山災害と防災 ④気象災害と防災 ⑤自然災害への備え	a：我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 a：様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 b：地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした。	定期考査・ワークシート	定期考査・レポート	提出ノート・発表
	生活圏の調査と地域の展望	①生活圏の調査と地域の展望	a：生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b：生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 c：生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとした	定期考査・ワークシート	定期考査・レポート	提出ノート・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度